

第三回赤外線建物調査委員会

【開催日時】

2011年11月22日(火) PM1:00～3:30 当協会入居ビル内、会議室

【出席者】

1. 佐藤紀男(佐藤建築事務所 所長、当協会理事):委員長
 2. 藤川眞二(九州テクノ株式会社 社長)
 3. 作中隆之(株式会社 菱サ・ビルウェア 課長)
 4. 堀 高広(株式会社田中雅美建築設計事務所 室長)
- 事務局 : 一般社団法人 日本赤外線サーモグラフィ協会 事務局(担当:加藤)

【議事テーマ】 : 赤外線サーモグラフィによる外壁調査の資格制度の検討

【議事内容】

1. 現在の ita 主催セミナー・講習会の説明

サーモグラフィトレーニングセミナー(JSNDI資格認証試験対応)

赤外線サーモグラフィによる外壁診断講習会(初級コース、実技コース)

昨年度に比較すると、今年度の受講者数が減少している。

2. 定期報告制度との関係

外壁診断に赤外線法が指定されるのは、役所からの入札案件が殆どである。民間では、病院や学校関係が比較的多いが、地域的に温度ムラがある。全国的には、未だ赤外線法による外壁診断の動きがあまり見られないようである。

外壁診断は、定期報告の100項目以上の内のひとつであり、赤外線でも打診でも良いということなので、どのような方法での調査が適しているか検討されている状況のようであるが、10年に1度の外壁の全面調査を実施するようになっており絶対必要な事項である。また、調査を任せられる良い技術者の選定が難しいということもあるので、そのための目安となる認定の資格が必要である。

3. 赤外線サーモグラフィによる外壁調査の資格制度について

現状の講習会の受講と修了認定証の取得から、資格制度に格上げすることが望ましい。アンケートを実施し、結果を参考にして、資格制度を検討する。

開催日程や開催場所についても議論する必要がある。

立ち上げる場合は、検討部会を設ける。

- a. カリキュラムとテキスト作成
- b. 試験内容と問題作成